2013年3月~2013年9月の主な出来事

医療研究セ

」高久田和夫教授、広報部を設置

26 19 19 14 13 26 26 22 20 8 7 1 22 22 18 18 16 16 8

21 19 11 8 6 6 25 21 11 8 6 26 19 16 15 10 9 8 8 1 26 25 24

ジエリアの様子

関する記者会見での記



うソウル大学学生

News

文科省、ISTで 本学の取り組みが採択

本学は、2013年度「研究大学強化促進事業(文 部科学省) | と再生医療実現拠点ネットワーク プログラム 「疾患・組織別実用化研究拠点 (拠 点B)」および「技術開発個別課題」(ともに JST) に採択されました。両者ともに、本学 の研究力を支援する事業となります。

Information

広報部設置でブランド力を強化

2013年4月に、広報活動を強化するため、 学長直轄の組織として広報部が設置さ れました。広報システムの効率化、学内 情報の集約と共有化を実践。東京医科 歯科大学の知名度を上げるため、教育・ 研究・医療・国際交流・社会貢献の実 績を国内外へ積極的に情報発信します。 知名度の向上は、優秀な人材や外部資 金の獲得につながり、本学のさらなる 発展が期待されます。

News

教授

新しい補助人工心臓の 植込みトレーニング

2013年4月より販売された新しい植込型補助 人工心臓 (HeartMate II) の臨床使用に先立ち、 国内の認定医療施設チームに対する植込みト レーニング (仔牛への植込み手術) が本学に おいて2月23日に実施されました。





した「くるみんマーク」

Heart Mate II (左)、植込む様子 (右)

News

田中真二准教授が 「日本消化器外科学会賞」を受賞

肝胆膵・総合外科学分野の田中真二准教授が、 臨床外科に基づいた分子生物学的解析による 新規分子標的群の同定とその治療応用の先駆 的研究への貢献により、日本消化器外科学会 賞を受賞しました。

03

早稲田大学と 学術交流協定を締結

学と早稲田大学は、学術交流 に関する協定を締結しました。 この協定は、お互いの大学にない分野 を補完し合うことで学生や教職員の視 野を広げ、グローバル人材の育成を目 指すものです。7月18日の調印式では、 本学の大山喬史学長と早稲田大学の鎌 田薫総長をはじめとした両大学の関係 者が出席し、協定書を締結しました。



協定調印式(大山学長と鎌田総長)

04

漕艇部 全日本インカレで5位入賞

月22日~25日に行われた全 日本大学選手権大会ボート種 目にて漕艇部の柳橋賢 (医学科3年) が男子シングルスカルで第5位に入賞 しました。全日本大学選手権大会は、 全国の大学生の頂点を決める大学ボー トで最大のレースです。本学漕艇部は 学業と両立させながら全学部の強豪大 学や社会人チームと対抗しています。 今後の漕艇部のさらなる活躍をご期待 ください。



終始安定した漕ぎで他大学をリード

()2 大学発ベンチャー

免疫機能の定量的測定 廣川勝昱

(株)健康ライフサイエンス代表、本学名誉教授

疫機能は多種類の細胞の様々 な機能からなる。個体の総合 的な免疫機能を評価しようとすると、 多数の免疫学的パラメータを測定する 必要がある。しかし、多数の羅列され たデータをみても、総合的な免疫機能 を判断することは容易ではない。その 様々な免疫機能の中で、T細胞系のパ ラメータは加齢、ストレス、疾病によ り変動が明瞭である。そこで、T細胞 とその亜集団のパラメータを中心に据 え、さらにNK細胞やB細胞を加え、 20歳~80歳代の健常人500人を対象に 測定し、データベースを作成。それを 基に、測定した免疫パラメータを3段 階にスコア化し、定量化した。その結 果、人の総合的な免疫機能について、 複数の免疫パラメータのスコアを加算 して、免疫力スコアとして定量化し、 免疫機能のレベルの客観的評価が可能 となった。この免疫力スコアリング法 については、発明者は我々であるが、 東京医科歯科大学の特許となっている。 この方法を用いることにより、個々人 の総合的な免疫機能のレベルを免疫力 スコア、免疫力年齢として、分かりや すい数値で表現できるようになった。 健常者は健康状態のチェック、病人は 病期の進行状態のチェックに利用でき る。また、いろいろなサプリメント類、 薬剤、食事の免疫機能に及ぼす影響を 見ることができる。今後測定する事例



が増えることで、免疫力測定の応用範

囲が増えるものと期待している。

大山学長より証書を授与される筆者

01

大学発ベンチャー

Tokyo Medical and Dental University

補助人工心臟 MedTech Heart 高谷節雄

メドテックハート(株)代表取締役、本学名誉教授

ベンチャーは、2008年から2011

年科学技術振興機構(IST)の 大学発ベンチャー創出事業助成金を元 に、東京工業大学と共同で研究開発を 進めたディスポ型、磁気浮上遠心式補 助人工心臓の早期臨床応用を目標に、 2011年8月22日に設立登記した。同年 12月26日に東京工業大学から第63号大 学発ベンチャー称号を、2013年2月26 日に本学から記念すべき第1号称号が 授与された。

これら大学からの支援のお陰で、 2013年5月には、NEDO イノベーショ ン実用化ベンチャー支援事業助成金が 採択され、事務所兼研究開発センター を東京都台東区浅草橋に構え、本格的 にディスポ型、磁気浮上遠心式補助人 工心臓、MT-Mag の実用化に向けた 研究開発を推進している。成人を対象 とする MT-Mag の他に、小児循環補 助を可能にする小型遠心式補助人工心 臓 TinyPump の研究開発も推進して いる。TinyPumpは、米国スタンフォー ド大学との共同研究において、胎児の 心臓バイパス手術への応用を前提に成 果を上げており、人への応用を目指し Primates による評価も検討されてい る。医療機器の実用化には、許認可と いう大きなハードルがあるが、東京医 科歯科大学発ベンチャー称号第1号の 名誉にかけて、新しい医療機器の早期 実用化を実現し、医療の向上、患者 QOLの向上・改善に貢献できること を願って止まない。



大学発ベンチャーの称号第1号を得た

未来の

医療人育成に向けた

本学は病気やケガに苦しむ人を一

人でも多く救うため、様々な病気

に対する治療法や治療薬の開発に

つながる研究および、世界中で活

躍できる医療人の育成に尽力して

います。これらの人材育成や研究活

動を支えるご寄附および基金を企

業や個人の皆様に募っております。

医療の発展のために、皆様のご理

解とご支援を賜りますよう、お願

い申し上げます。詳細は下記にお

問い合わせください。

TEL: 03-5803-5009

●東京医科歯科大学基金

東京医科歯科大学募金室

ご支援のお願い